

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

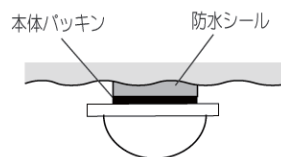
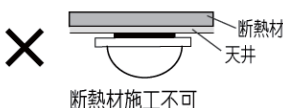
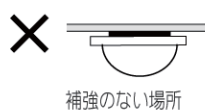
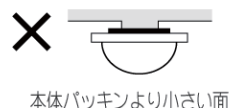
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

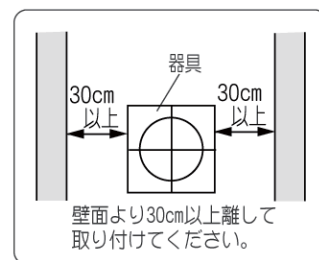
警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
施工に不備があると非常点灯せず、正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を短絡、分解等しない。
火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 天井直付・壁直付器具です。取付面が右図のような場所には取り付けない。
火災・感電・落下・短寿命の原因となります。
- 壁面取付の場合、水抜き穴を下にして取り付ける。
火災・感電の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい、必ずD種(第3種)接地工事を行う。
接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。
- 取付面の凹凸が大きい場合、本体パッキンと取付面との隙間を防水シールなどで埋める。
火災・感電の原因となります。
- 取付面(電源穴や取付部)から、水の浸入がある場所には取り付けない。
火災・感電の原因となります。



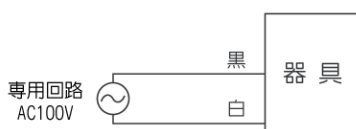
注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨のかかる場所、温泉街など腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
火災・感電・落下の原因となります。
- この器具を天井につけて使用される場合は、かならず付属の防水パッキンで水抜き穴をふさいでください。
浸水による火災・感電の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以内で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。
- 壁面より30cm以上離して取り付けてください。(NNFF31851の場合)
施工できない原因となります。
- この器具の電源は専用回線にしてください。
- 階段通路誘導灯として使用される場合、常時、連続点灯してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置等を用いて消灯してください。
- 48時間充電後→非常点灯確認してください。充電しないと非常点灯しません。
- 電源通電状態で、ランプユニットを接続しないでください。
ランプユニットが点灯不良になる原因となります。

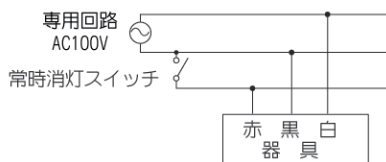


配線種類

A. 消灯なし(2線式配線)の場合



B. 消灯あり(3線式配線)の場合



各部のなまえと取付けかた



警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行なう。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

1. 取付前の確認

- 器具質量 (6.9kg) に十分耐えるよう取付面の強度を確保する。
取付けに不備があると、落下の原因となります。

① グローブを取り外す。【図1】

- グローブ内のポリ袋を取り出す。

② カバーを取り外す。【図2】

- 本体内のダンボールパットを取り出す。
- 点検スイッチを固定している青色テープをはずす。

③ ランプユニットを仮り吊り状態にする【図3】

- 衝撃を加えないでください。落下の原因となります。

2. 本体の取付

① 本体を取付ボルトに確実に取り付ける

(取付ボルトはW3/8又はM10を使用してください。)

② 回転止めネジで本体を固定する。

回転止めをしないとグローブが外れなくなります。

注) 壁付の場合は、水抜き穴を下にして取り付ける。

注) 天井付の場合は、防水パッキンで水抜き穴をふさぐ。【図4】

注) タイル面など取付面に凹凸がある場合は、取付面と本体パッキン

とのすき間を防水シール材などで埋めてください。

不備があると火災・感電の原因となります。

3. 電源線・アース線・蓄電池の接続

① 電源線は端子台、アース線はアース端子に確実に接続する。

- この器具は、端子台での送り配線が可能です。
(端子台の送り容量は20Aです)

接続が不完全な場合や接続を間違った場合や容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。

- D種(第3種)接地工事が必要です。

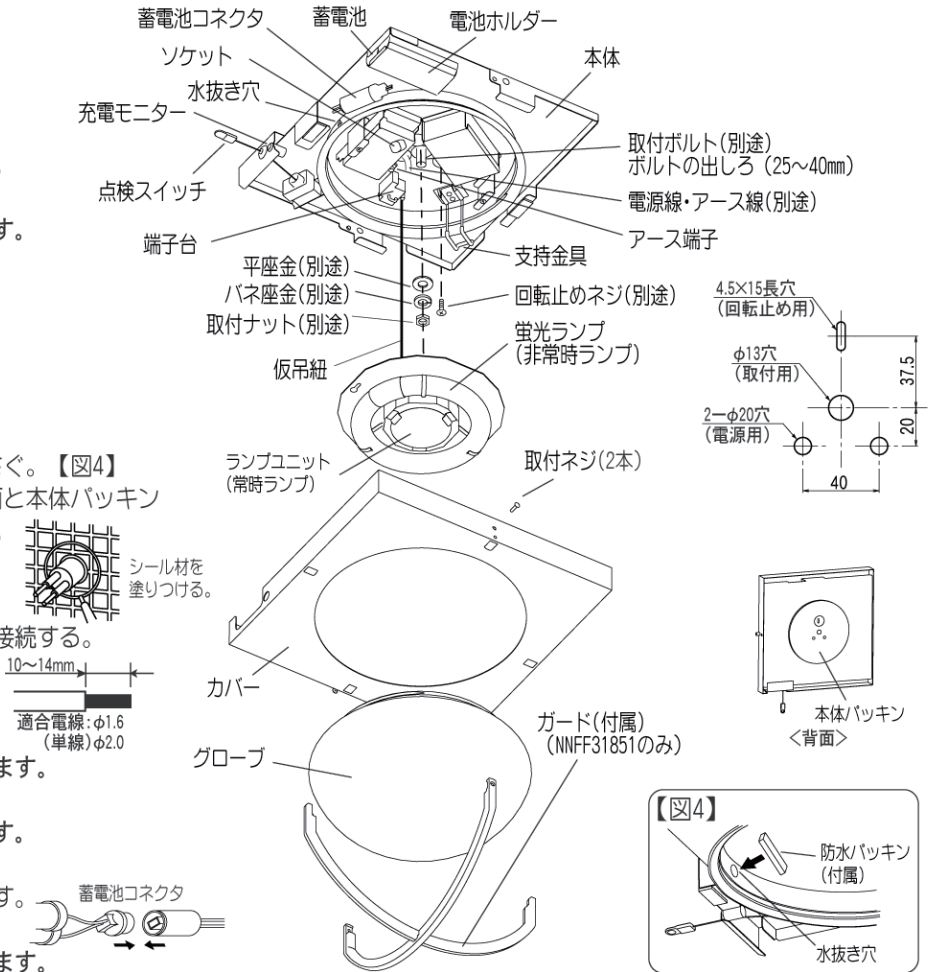
接地が不完全な場合、火災・感電の原因となります。

- 常時消灯する場合は、短絡線を外してください。

- 常時消灯する場合は、所轄消防署の承認が必要です。

② 蓄電池コネクタを確実に接続する。

接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。



4. ランプユニットの取付

① ランプユニットを取り付ける。【図3】

② ソケットを蛍光ランプ(非常時ランプ)に確実に接続する。

接続が不完全な場合、火災や正しい避難誘導ができない原因となります。

5. カバーの取付

・カバーを本体に取り付ける。【図2】

取り付けが不完全な場合、落下の原因となります。

6. 充電状態と非常点灯の確認

- 電源を通电し、ランプユニット及び充電モニターが点灯するかを確認する。

- 48時間充電後点検スイッチを引っ張り、非常点灯するかを確認する。正常に動作しない場合は『故障かな?』と思ったときは』の項を参照してください。

7. グローブの取付

・グローブを取り付ける。【図1】

不備があると、落下の原因となります。

8. ガードの取付(NNFF31851のみ)

・ガードを取り付ける。【図5】

取り付けが不完全な場合、落下の原因となります。

【図1】 本体

<グローブを取り外す>

- ① グローブを反時計方向にまわし、本体から取り外す。
- ② 支持金具からグローブを取り外す。

<グローブを取り付ける>

- ③ グローブを支持金具に引っ掛ける。
- ④ グローブを本体に押し上げ、時計方向にまわし取り付ける。

注) グローブパッキンがはみ出さないようにしてください。浸水による火災・感電の原因となります。

注) グローブを支持金具で無理にこじらないでください。グローブ破損の原因となります。

【図2】 点検スイッチ

<カバーを取り外す>

- ① 取付ネジ(2本)を外し、カバーを取り外す。

<カバーを取り付ける>

- ② カバーの切り欠きと点検スイッチの位置を合わせてカバーを本体にかぶせる。
- ③ 取付ネジ(2本)で締め付ける。

【図3】 ランプユニット

<ランプユニットを仮り吊りする>

- ① 固定ネジ(2本)をゆるめる。
- ② ランプユニットをスライドさせ、固定ネジから外す。

<ランプユニットを取り付ける>

- ③ ソケットをランプユニットの穴に通す。
- ④ ダルマ穴を固定ネジに通し、スライドさせる。
- ⑤ 固定ネジ(2本)を締める。

【図5】 ツマミネジ(2本・付属)

<ガードを取り外す>

- ① ツマミネジ(2本)を外し、ガードを取り外す。

<ガードを取り付ける>

- ② ガードを小ネジで組み立てる。
- ③ ガードの穴をツマミネジ削にして、ガードをカバーの穴(4カ所)に差し込む。
- ④ ツマミネジ(2本)で取り付ける。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常を感じた時は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。火災・感電の原因となります。

注意

- お手入れ・部品交換の際は、必ず電源を切ってください。感電及び点灯不良の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 照明器具には、寿命があります(※1) 法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8~10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4~6年です。

非常用照明器具の場合、使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。

■ランプユニットの光源寿命は、40000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

■ランプユニットの光源にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- ・電源を通電しないまま蓄電池コネクタをつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。
- ・長時間使用しない場合は、蓄電池を外して保管してください。
- ・点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳器等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・防雨構造を有しているため、周囲の環境状況の変化によりグローブ内面に水滴(結露)が発生する場合があります。その際は、グローブを外して水滴を拭き取ってください。

保証について

- 保証について…この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。ランプユニット・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について…保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品について…弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

- 器具の清掃について…水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- 部品の交換について…下記の指定された部品を使用してください。(パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。)

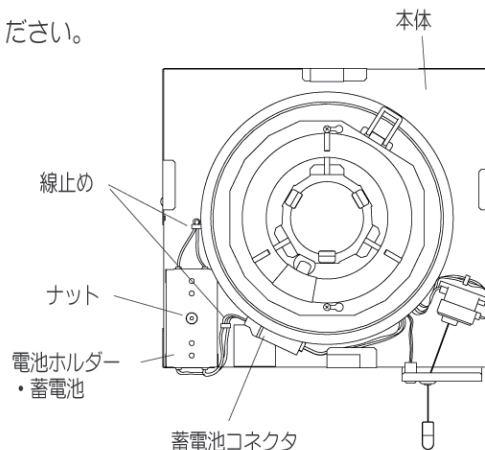
品番	ランプユニット	蛍光ランプ	蓄電池
NNFF31850 NNFF31851	NNFF31850L	FCL20ENW/18F	FK714(4.8V 2500mAh)

【ランプユニット交換方法】

ランプユニットの交換は、交換用のランプユニットに同梱の、補修説明書に従って行ってください。

【蓄電池交換方法】

- ①ツマミネジを外し、ガードを取り外す。(NNFF31851のみ)【図5】
- ②グローブを取り外す。【図1】
- ③カバーを取り外す。【図2】
- ④蓄電池コネクタを外す。
- ⑤ナットを外し、電池ホルダーを外す。
- ⑥蓄電池を交換する。
- ⑦電池ホルダーを取り付け、ナットで固定する。
- ⑧線止め(2か所)に電池の線を入れる。



交換後は『各部のなまえと取付けかた』の手順にて施工してください。

- ◆定期点検 ・3ヶ月に1回は、破損、変形などの外観の点検をお勧めします。
 ・6ヶ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
 (点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな?と思ったときは

表にしたがってお調べいただき、なお異常のある場合は、すぐ電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

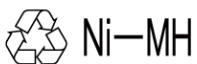
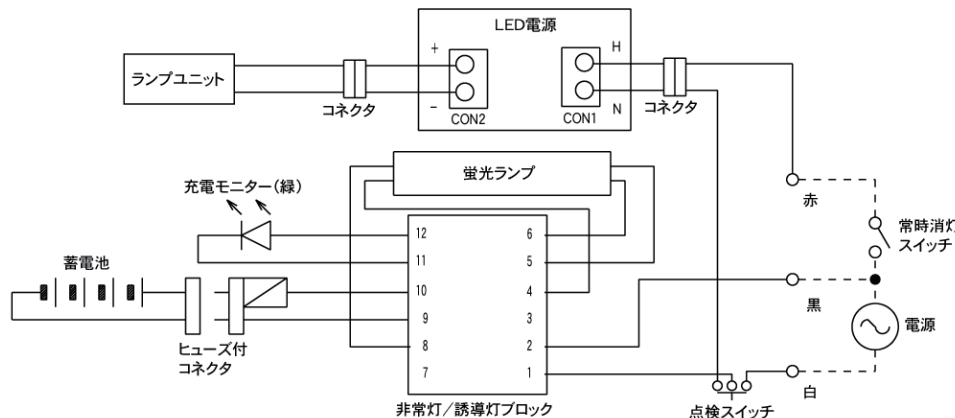
現象	考えられる原因	処置
●ランプユニット(常時ランプ)が点灯しない	ランプユニットのコネクタが外れている	ランプユニットのコネクタを接続する
	ランプユニットが寿命である	ランプユニットを交換する
	消灯スイッチにより電源が遮断されている	電源を通電する
	信号装置により消灯されている	点灯させる
●蛍光ランプ(非常時ランプ)が ・点灯しない ・短時間しか点灯しない(30分未満)	蛍光ランプのソケットが外れている	蛍光ランプのソケットを接続する
	蓄電池コネクタが外れている	蓄電池コネクタを接続する
	蓄電池が充電不足である (保管時の自然放電や、施工時の放電など)	連続48時間以上充電する
●充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている	蓄電池コネクタを接続する

器具定格・接続図

●定格

品番	摘要	ランプ	定格電圧	入力電流	入力電力	非常時光束
NNFF31850 NNFF31851	常時	1×NNFF31850L	AC100V	0.204A	19.4W	—
	非常時	1×FCL20ENW/18F	密閉型Ni-MH蓄電池	FK714(4.8V2500mAh)		55%

●接続図



この器具には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニッケル水素電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。